

あわら 市議会だより



第40号

平成26年4月15日 発行



Contents

3月定例会報告	2p
委員会報告	4p
一般質問	8p
請願・意見書	13p
トピックス	13p
討論	14p
議案と結果	15p
議会報告会・ふるさと探訪	16p

国指定史跡「吉崎御坊跡」の八重桜と高村光雲作の「蓮如像」です。

福井県の最北端、あわら市吉崎のシンボルとして立っている「蓮如像」は、昭和9年に完成したもので、高さ5メートル、台座7メートルあり、高村光雲の最大作とされています。

八重桜は、吉崎蓮如忌に合わせ、35年前に植樹されました。

議会がインターネットで視聴できます。

あわら市議会インターネット中継

検索

3月定例会 平成26年度一般会計予算成立 歳入歳出 143億4,000万円に

会計名	予算額	前年度比較(%)
一般会計	143億 4,000万円	16.9
特別会計	国民健康保険	30億 8,350万円 △3.2
	後期高齢者医療	2億 9,220万円 1.1
	産業団地整備事業	387万円 △30.7
	農業者労働災害共済	509万円 0.4
	水道事業	15億 6,617万円 43.1
	工業用水道事業	1,155万円 9.1
	公共下水道事業	24億 6,785万円 8.3
	農業集落排水事業	1億 854万円 37.7
芦原温泉上水道財産区水道事業	2億 594万円 14.0	
合計	220億 8,471万円	13.8

<地方債及び基金・積立金の状況>

地方債残高 (市の借金)	
平成25年度末 見込	
一般会計	178億 2,858万円
公共下水道会計	117億 1,382万円
水道事業会計	19億 5,084万円
農業集落排水事業会計	4億 3,734万円
合計	319億 3,058万円
市民1人当りの借金 約107万8千円	

基金・積立金残高 (市の貯金)	
平成25年度末 見込	
財政調整基金	28億 円
地域振興基金	13億 円
その他	11億 3,320万円
※一般会計所管 計	52億 3,320万円
国民健康保険基金	2億 4,018万円
農業者労働災害共済基金	3,440万円
※特別会計所管 計	2億 7,458万円
合計	55億 778万円
市民1人当りの貯金 約18万6千円	

平成26.2.1 現在の人口 29,619人

平成26年3月定例会が2月25日から3月20日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分の報告に関する1議案を受理し、平成25年度補正予算と平成26年度当初予算に関する16議案、条例の新規制定または改正に関する8議案、新市建設計画の変更に関する1議案、市道路線の認定に関する1議案、公の施設の指定管理者の指定に関する7議案、人事に関する9議案の計43議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は7名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

その他、請願1件を採択し、議員発議により意見書1件を可決しました。

3月定例会 平成25年度一般会計補正予算 3億275万5千円を増額



漫画「ちはやふる」にも登場するレンゴ(株)の桜並木

- 平成25年度一般会計予算総額は135億375万5千円に
- えちぜん鉄道あわら湯のまち駅南側に芦原児童公園を整備
- 老人福祉センター百寿苑を廃止し、老人憩いの家百寿苑を設置
- 教育委員会委員の報酬を増額改定 ■教育委員会委員 佐々木基之 氏の任命に同意
- 人権擁護委員 藤井さち江 氏、宮崎絹子 氏の推薦に同意

議会日誌	
12月20日	広報編集特別委員会
25日	広報編集特別委員会
1月6日	広報編集特別委員会
17日	厚生経済常任委員会
20日	議会運営委員会行政視察
31日	全員協議会
2月10日	総務文教常任委員会 協議会
13日	厚生経済常任委員会
19日	議会運営委員会
20日	全員協議会
25日	第69回議会定例会 開会
3月4日	第69回議会定例会一般質問
5日	広報編集特別委員会
5日	厚生経済常任委員会
6日	厚生経済常任委員会
7日	厚生経済常任委員会
10日	総務文教常任委員会
11日	総務文教常任委員会
12日	総務文教常任委員会
19日	議会運営委員会
20日	全員協議会
20日	第69回議会定例会 閉会

議会日誌 おもな会議のみ掲載

総務文教常任委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成25年度 一般会計補正予算

■教育総務課

プール監視員 賃金の減額

委員プール監視員の応募がなく、やむなく保護者や先生が監視をしている。外部に委託する方法も検討すべきではないか。理事者市の広報誌で募集しているが、応募者がない小学校がある。安全監視であるため制限があるが、外部委託も検討したい。

平成26年度 一般会計予算

■総務課

LED防犯灯設置 事業補助金 1千800万円

委員事業の具体的な成果がみえない。10年間の総括を行い、事業を見直すべきではないか。理事者男女共同参画社会の実現には時間がかかり、事業は地道に継続すべきである。しかし、事業内容については再検討し、実効性があるように

したい。

地域防災について

委員現在、自主防災組織の設立に力を注いでいるが、大事なことは災害時に組織が機能するかどうかである。災害への対応、防災訓練等についてのマニュアル作成を支援すべきではないか。理事者地区で行う防災

訓練には、行政が出向き実行的な訓練になるように指導している。今後は、自主防災組織が設立された区に対し、充実した体制をとってもらうよう指導を考えた

委員拠点避難所を設置した場合、支援物資置き場や高齢者の居室など、具体的な配置図を準備しておく避難所開設が

花のまちづくり事業 210万円



フラワーサポーターによる植替えの様子

■政策課

温泉情緒あふれる 華やきの まちづくり事業 3億5千525万円

委員今回の多額の投資は温泉街の活性化が目的である。事業を活かすためには、恩恵を受ける事業者や市民の意識が変わらなければならない。行政は意識改革を促すよう、努力しなければならない。

委員フラワーサポーター協議会に管理を任せようだが、地域に任せただが長続きするのではないかと。理事者花の管理については、難しい面があるので、両市街地の一定のエリアを、フラワーサポート協議会にお願いしたいと考えている。そのようなエリアができれば、自然に市内全体に波及していくことを期待している。



第27次日本中国友好親善少年使節団の交流の様子

■教育総務課

国際交流派遣事業 115万円

委員金津中学校がアメリカのユージン市、芦原中学校が中国の紹興市へ生徒を派遣する事業であるが、中国を訪問する芦原中学生の希望者が少なく、定員割れの傾向で

ある。中学校ごとに行先が固定しているが、両中学校から募集してはどうか。

理事者2校の歴史があるが、そろそろ市全体として派遣する時期にきていると思う。しかし、相手先との協議もあり、慎重に検討したい。

給食センター 人員配置について

委員給食配送車4台に4人の運転手であるが、余裕のある人員配置を行うべきではないか。理事者新年度から臨時職員で対応したい。

■文化学習課

観月の夕べ 補助金530万円

委員観月の夕べは、月を観てお茶を楽しむ催しから、花火を楽しむイベントになっている。所管課の問題も含め、あり方そのものを再検討する必要があるのではないかと。理事者文化協議会の委員は、お茶会やステージ発表を楽しみにしており、観月の夕べは文化が中心と考えている。花火との共演を今後、更に検討していきたい。



観月の夕べ

教育委員会委員 の報酬改定

委員教育委員の年額報酬を、委員長は23万円から46万円に、委員は17万円から34万円に改定するとのことだが、どうしてこの時期に改定するのか。

理事者今まで、合併前の旧時代の報酬を踏襲していた。他市と比べて低いので、今回改定したい。委員報酬は他市との比較で決めるものではない。報酬を改定するからには

議案外の件

小学校の2学期制 試行導入について

教育制度の変更は保護者にとって大きな関心事である。

しかし、平成26年4月からの2学期制導入について、市民や保護者や議会に対して説明がなかった。まず、4年前から試行している中学校の検証を先にすべきであり、あまりにも拙速に決定したことは、誠に遺憾である。更に、2学期制導入に関し、教育委員会でほとんど議論されておらず、教育長の報告を承認しているだけでは、教育委員会としての責任を果たしているとは言えず、反省を求めたい。

教育委員会議会や保護者に対し報告が遅れたことについて深くお詫びする。

現在は、学習指導要領が改定され、ゆとりが無い状態で授業を消化している。少しでも早く、授業時間を確保したいと考えた。試行しながらメリットを生かし、デメリットを少なくしたい。総合的な学習や地域と連携した教育を行い、たくましい子ども達になってもらいたいと考えている。



小学生と高齢者の交流(新郷小学校)

厚生経済常任委員会

インターネット中継で審議状況がご覧になれます。

平成25年度 一般会計補正予算

■市民生活課

公共交通対策経費

委員 広域生活路線維持対策等事業補助金（路線バスの赤字補てん）は、3月補正で一括計上せず、当初予算で計上すべきである。

■農林水産課

鳥獣害防止事業

委員 イノシシ対策である金網固定柵設置については、補助割合、国50%、市10%、地元負担40%である。細呂木地区にも拡大しており、被害拡大を防止するため、少しでも地元負担を軽減すべきではないか。

理事者 抜本的な対策を講じる必要があり、県に

も支援を要請している。

平成26年度 一般会計予算

■市民生活課

公共交通対策経費

委員 JR芦原温泉駅パリアフリー整備事業は、エレベーターを3基設置し、プラットホームを延長する事業である。

当初見込みより高額になったように思うが、

補助金積算の根拠は。

理事者 一昨年から金額は変わっていない。工事費は、総額3億2千975万円であり、国、県と市JRそれぞれ1/3の負担割合である。

ただし、エレベーター設置に関して、駅前広場と駅舎を結ぶエレベーター1基については、国の補助はあるが、JRが負担しないため、その分をあわら市が負担することになる。



JR芦原温泉駅の長い階段

よって、あわら市負担は、7千535万8千円である。（平成27年3月完成予定）

公害対策経費

委員 カラス捕獲委託料だが、檻の設置経費が計上されていないのはなぜか。

理事者 25年度に設置した檻での捕獲状況を鑑み、対応していく。委員 カラス捕獲用の檻設置と、抜本的な対策を要望する。

■福祉課

生活保護給付事業 2億8千万円

委員 生活保護者が増加しているのに、昨年より2千万円減額しているのはなぜか。

理事者 25年度の状況を鑑み、医療費扶助が減少すると見込んでいる。

■健康長寿課

健康長寿祭事業



健康長寿祭

委員 マンネリ化しており、改革が必要ではないか。理事者 開催の体系から考えるべきであり、小学校単位での開催もひとつの方法である。イベントの内容を変更することは難しい。提案があれば採用していきたい。将来的には、小学校や公民館単位で、地域や各種団体の協力を得て、自主的な開催になれば良いと考えている。

■子育て支援課

市立保育所の改修

委員 資材単価が全国的に高騰しているが、対策は講じているのか。また、いつ発注するのか。理事者 設計において資材の高騰分を見込んでおり、1億3千51万9千円を計上している。入札は4月末に予定している。

■農林水産課

排水機場・農道維持管理経費

委員 排水機場や融雪用電気料の契約は、どうなっているのか。理事者 排水機場については、湯水期の期間は契約していない所もあるが、冠水防止のため、年間契約している所もある。



セントピアあわら

農道の融雪用電気料は、11月末から3月末までの契約となっている。

農道維持管理経費

委員 農道を市が管理しているのはなぜか。

理事者 フルーツライン他、市内4つの基幹農道は、農林水産課が管理している。すべて県営事業で整備された農道であり、財産は県の所有物であるが、県から市へ管理委託されているためである。

■観光商工課

セントピアあわら 管理経費

委員 新たな指定管理者との引き継ぎが上手く行っていない。指定管理者の条件であった職員5名の待遇についても採用条件がはつきりしていない。どのような対応になっているのか。

理事者 引き継ぎは、指定管理者、観光協会、市の3者で協議を進めている。職員の待遇については、提案された給与体系の内容に沿って格付けするよう対応し、人件費は、前年に比べ8%の減と聞いている。

委員 利用者が、今までどおりのサービスを受けられる事が大事である。職員採用の対応についても、しっかりと指導してほしい。

越前加賀宗教文化 街道環境整備事業

委員 越前加賀歴史情報館の具体的な展示内容はどうなっているのか。

理事者 展示内容は、「祈りの道」周遊ルートに関するもの、吉崎御坊や一向一揆に関するもの、あわら市と加賀市の観光などそれぞれの情報発信を考えている。入場料は無料の方向で検討している。

委員 新幹線関連で様々な事業を展開するが、投資するからには計画の段階で事業効果を示す必要がある。心配なのは立派な施設を整備しても、お客が来ないことである。予想される観光客数は、業者委託しても調査するべきではないか。

理事者 それぞれの目標や指標を持って事業を展開しており、平成28年度には検証する考えである。目標は、現在取り組んでいる事業も含め、指

標を達成したいと考えている。

■建設課

道路橋梁 維持管理費

委員 側溝清掃費について、実施する路線の選定はどうなっているのか。

理事者 予算に限りがあるため、基本的には地元で対応してほしい。

■県営道路改良事業

委員 市道金津三國線について、県道福井加賀線（芦原街道）への接続はいつになるのか。また、延伸の状況はどうなっているのか。

理事者 県営事業であるため、芦原街道への接続年度は確定できない。目標は平成28年度である。芦原街道以西の延伸については、昨年も知事要望を行っており、今後、あわら市、坂井市のそれぞれのレベルで協議していく。

あわら市子ども 子育て会議条例 の制定について

委員 子ども子育て会議の委員報酬について、民生委員や防犯隊の手当と比べ、高額ではないか。理事者 他の審議委員の報酬を参考に報酬金額を定めた。

委員 各種委員の報酬は、市全体の中で見直すべきである。

強く要望！

最後に、平成26年度予算の中に、平成27年春の北陸新幹線長野・金沢延伸開業に向けたJR芦原温泉駅前、芦原温泉街、北潟湖畔等、誘客のため数々のハード事業の予算が計上されている。それに加え各観光プロモーション、ちはやふるウィーク等の誘客の目玉となるソフト事業も計画されている。



漫画「ちはやふる」© 末次由紀/講談社・VAP・NTV

市政について問う!

3月の定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)



- 吉田 太一 議員
- 定住人口を増やすためには
- 安定した財政を維持するためには
- 基金の運用について



- 三上 薫 議員
- 消防団員の減少と高齢化に対する対策について
- 振り込め詐欺対策について



- 八木 秀雄 議員
- 第2の合併について
- 区民館(地区集会施設)の耐震化について



- 山本 篤 議員
- イメージ戦略について
- 公共施設へのカラオケ設置について
- 職員研修について



- 山川 知一郎 議員
- 子ども医療費無料化を
- 学校給食における地場産食材の利用拡大を
- 中小企業の振興発展策は



- 平野 時夫 議員
- 公会計制度改革について



- 坪田 正武 議員
- 公共工事の入札不調に伴う行政の対応について



定住人口を増やす対策を

吉田 人口減少は、社会保障費や、水道料金など、様々な分野で、市民一人ひとりに今後大きな負担になってくる。人口減少の対策をどのように行ってきたのか。また、定住人口を増やすための対策は。

市長 全国的な人口減少の流れにあって、あわら市のみが人口の増加を実現していくためには、並々ならぬ資金とエネルギーを投入する必要があります。まずは現在の人口減少を食い止め、これを

維持させるための取り組みを行うべきで、その政策が、現在展開しているHEECE構想であると考えています。当面は、HEECE構想事業の充実を図りながら「若い世代が住み、生み、育てたくなるまち」の実現に努めたいと考えています。

安定した財政を維持するために

吉田 今後安定した財政を保つための問題点及び運営方針は。

財政部長 今後予想される問題点は、人口の減少に伴う様々な影響や社会資本の再整備といった課題があります。よって、「収入を把握してから支出を計画すべし」という財政の鉄則を念頭に事務事業に優先順位をつけながら、歳入とのバランスを考慮し

た効率の良い財政運営を心がけていきたいと考えています。

基金の運用について

吉田 現在の基金運用はどのように行っているのか。

会計管理者 法令等により、基金の運用は確実な方法によらなければならぬと定められています。よって、約49億円は、市内に支店を有する7つの金融機関に1年定期を中心に預金しています。預金の方法としては、まずリスクが低いことを前提に、基本的には利回りの良い金融機関へ預けています。併せて各金融機関があわら市に支店を置き、本市の経済その他に一定の貢献をしていることも配慮しています。



消防団員の確保について

三上 地域防災力の強化が叫ばれる中、消防団の役割は重要性を増している。しかし、団員の確保が大変困難な時代であり、対策として、団員を優遇する制度を検討してはどうか。

総務部長 消防団員を旅館や飲食店等で優遇することにつきましては、団員が地域住民に親しまれ、必要とされ、感謝されていることを実感で



消防団 出初式の様子

振り込め詐欺に

三上 詐欺被害防止のため意識啓発に関する具体的な取り組み内容、その効果及び今後の進め方は。

市民福祉部理事 啓発活動については、街頭での啓発や出前講座を行っています。

出前講座は地区からの依頼により開催することもあり、今後は地域ぐるみで、消費者被害を防ごうとする地区が増えていくよう、PRしなければならぬと考えています。あわら市消費者センターは、今後とも新しい情報の収集に努めるとともに、これまでの地道な啓発活動を維持、継続していきたいと考えています。



八木 秀雄 議員

第2の合併について

八木 これまでの市政運営は順調に推移しているが、今後のあわら市は少子高齢化による税収の減、社会保障費の増加など財政面が厳しくなることは明らかである。

市長は、「第2の合併を視野に」を公約に掲げているが、合併に対する見解は。

市長 あわら市にとって必要なのは、合併を視野に入れた行政運営であり、合併を前提としたものではありません。次なる合併を考える際にも、収集した情報



市政10周年記念 まちづくりシンポジウム

工事の補助制度が整備されている。あわら市でも補助制度を創設するべきではないか。

に緻密な分析を加えながら、市にとって、最も望ましい結論を導き出すことが役目だと考えています。

第2の合併は、基礎的自治体としての能力と体力強化を図った上で、市民の皆様と十分議論を尽くしながら進めるべきものと考えています。

区民館の耐震化について

八木 坂井市では区民館の耐震診断や補強

に基づいて建てられた建物かどうかなどについて、各区長に対し調査をお願いしたいと考えています。

そして、旧耐震基準に基づいて建てられた区民館等については、市独自に耐震診断と補強工事の設計費用も含めた補助制度を創設したいと考えています。

耐震補強工事の補助についても、前向きに検討していきます。



山本 篤 議員

イメージ戦略について

山本 「ユコちゃんプロジェクト」には、いったいどれくらい経費がかかっているのか。

また、湯巡権三という観光協会のキャラクターもあり、紛らわしく、イメージ戦略が浸透するまで時間がかかるのではないかと。

市長 経費については、母子手帳やポストカードなどのデザイン料、給食配送車のラッピング費、ポスターやクリアファイルなどの印刷費や制作費などをすべて含めて528万円になります。



ユコちゃんをラッピングした給食配送車

湯巡権三は、観光などの分野で活躍してもらい、ユコちゃんは、現在、大阪を中心に東京でも人気が高まってきており、いずれ全国に人気の輪が広がっていくものと期待しています。

現在はそのため準備期間とご認識いただければ幸いです。



湯巡権三

公民館へのカラオケ設置について

公民館へのカラオケ設置が進んでいるが、当市も設置する考えはないのか。

教育長 公民館は、地域コミュニティの中心的施設として活用を図ることが重要であり、施設の充実等については今後の課題として認識しています。

職員研修について

山本 新人職員の研修は、現在どう行っているのか。

総務部長 市職員としての自覚、社会人としてふさわしい言動など、基本姿勢を涵養するための研修で、不安を効果的に払拭し、住民との円滑な接遇の習得に重点を置いたものであります。



山川 知一郎 議員

子どもの医療費を無料に

山川 坂井市は、26年度から中学校卒業まで完全に無料化することであり、あわら市も無料にすべきではないか。

市民福祉部長

平成22年10月から、中学校卒業までに助成を拡大したが、小中学生については、1ヶ月5000円の負担をお願いしています。これを無料にすると、約800万円の費用が増加することになります。財政上の問題よりも、不要不急の受診を抑制するために、当面は現

状通りとしたいと考えています。

学校給食での地産地消推進を

山川 1月から、新学校給食センターが業務を始めているが、地場産食材の利用状況はどうなっているか。



学校給食センター

教育部長

野菜や果物等については、地元のものについては、地元のものが多いです。豚肉やコメについてもあわら市産のものを使用しており、コメは4月から12月はコシヒカリ、1

月から3月はイクヒカリを使い、11月から新米に切り替わっています。

山川

食材が地元のものであるというが、信用できない。農家の出荷伝票をしっかりと確認すべきである。

中小企業の支援強化を

山川 4月からの消費税増税の影響はどれだけあるか。実態調査を行い、きめ細かい支援をすべきではないか。

経済産業部長 消費増税による影響については予測が困難であります。今後とも、商工会と連携しながら、制度融資の利子補給継続や支援体制を充実していきたいと考えています。

市は財政運営の実態を明らかにする「見える化」即ち、単式簿記から複式簿記へ移行する新公会計制度を導入する考えはないか。



平野 時夫 議員

公会計制度改革について

平野 国の借金は1千兆円の大山を突破し、税収は1990年以降減少する一方である。国の財政が債務超過の状況下にある現在、財政の健全化は国・地方自治体とも急務である。

市は財政運営の実態を明らかにする「見える化」即ち、単式簿記から複式簿記へ移行する新公会計制度を導入する考えはないか。

財政部長 本市は、新地方公会計について、平成19年度の国の通達に基づき、平成20年度決

算から貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を作成し公表を行っています。国は、この新地方公会計制度を更に推進していくため、「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」を平成22年度から開催しており、今年度末には報告案がまとまると聞いています。

国においては「報告案がまとめられた後、より詳細な取り扱いを定めたマニュアルの策定等を進めた上で、新たな基準による財務書類の作成を推進することとしている」このことですので、その動向を注視しているところです。

また、研究会では、新地方公会計の推進にあたっては、新たな財務会計システムの導入やそのメンテナンスコスト、あるいは人材育成といった課

複式簿記とは
会計取引を借方（収入やモノを購入し資産が増えていく方）と貸方（支払いなどで負債が増えていく方）に分けて記帳します。この2つそれぞれで、勘定科目に分解し、勘定科目ごとに総勘定元帳と呼ばれる帳簿に整理する簿記の方法。

単式簿記とは
おこづかい帳や家計簿と同じで、現金や預金の出し入れを記録する出納帳を作るだけの方法。



坪田 正武 議員

入札不調に伴う 行政の対応について

坪田 東日本大震災以降、資材や技術者が不足し工事費用が高騰しているため、公共工事の入札不調が全国的に問題となっている。

労務単価は、国の指示により7・1%上積みするらしいが、資材費についても対応が必要ではないか。

次に、改修工事で問題が発生した場合、簡単に追加工事を認める事例が見受けられる。業者の言いなりになっているように思うがどうか。

副市長 資材単価は、原則として、直近の単価を採用することになっていきます。よって予算編成時から新年度の発注時期までに2カ月以上の期間が空くことになりません。

今般、消費税率アップや円高により、資材単価の高騰が予想されていますが、現段階では新年度の発注工事における資材単価の見直しについては、国や県から具体的な指示は出ていません。

今後、急激な物価の高騰が認められるときは、適宜設計の見直しを行い、対応したいと考えています。



改修中のIKOSSA

行政視察 報告

議会運営委員会

1月20日、21日において三重県鳥羽市議会及び亀山市議会を視察しました。

所有し、利用頻度は個人により差がありますが、資料の閲覧や情報の共有等に活用しているそうです。



タブレット端末

まず、鳥羽市議会では、「予算決算常任委員会について」、「IT化の推進について」視察しました。

予算決算常任委員会は、議長を除く全議員で予算を審査するものです。全議員で審査するため、審査時間短縮の工夫として、昨年と大きく変わらないものについての説明等の省略、収入未済、不用額の金額が大きい場合は、その原因等を簡潔に説明するようなことを行っているそうです。

IT化については、全議員がタブレット端末を

亀山市議会は、議会基本条例に基づき、いるな改革を推進していますが、「議会改革白書2013」を作成し、自己評価も実施していました。

あわら市議会も平成24年4月に議会基本条例を施行しましたが、議会改革の目標に向けた自己評価や確認の必要性を感じました。

この視察研修において参考になったところを取り入れながら、更なる議会改革に取り組みたいと思います。



亀山市議会での視察

請願・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

「要旨」

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない人に手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」の制定を求める。

「提出者」 社会福祉法人 福井県聴覚障がい者協会
あわら市聴覚障害者友の会
「結果」 国へ意見書を提出
「採択理由」

国は障害者の差別禁止や社会参加を促す国連の「障害者権利条約」を本年1月批准している。本条約には、「手話は言語である」と、明記されており、手話は意思疎通の手段として非常に有効であることから、願意は妥当と考えられる。



その他、要望書が提出されていますので、件名のみ掲載します。

●北潟湖畔公園に便所の新設に関する要望

「提出者」 あわら市老人連合会
あわら市グラウンドゴルフ協会
会長 八木敬一郎
会長 中荒江 俊

●認定こども園移行に係る施設改修、備品等の整備拡充に関する要望

「提出者」 社会福祉法人 ポプラ福祉会
社会福祉法人 さくら福祉会
社会福祉法人 刈安福祉会
理事長 高橋 博之
理事長 清水 澄郎
理事長 丸子 要

討論

○「ろう学校では、正式な手話教育が行われていなかった」ということを今回の請願で知りえた。ろう学校で学ぶ子ども達に「口話教育」はもちろんだが、「手話教育の授業」が1日でも早く実現し、あらゆる場面で、普通に手話によるコミュニケーションが取れることを期待する。

賛成

トピックス

市議会議員 在職10年表彰

第69回定例会の冒頭、「福井県市議会議長会表彰」の伝達式がありました。



坪田 正武



向山 信博



北島 登

平成26年3月 第69回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

		議決結果	山本 篤	平野 時夫	毛利 純雄	吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川 知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	卯田 ひろみ	山川 豊	東川 継央	杉田 剛
市 長 提 出 議 案	平成25年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度一般会計予算	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	平成26年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度産業団地整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度農業者労働災害共済特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子ども・子育て会議条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	老人憩いの家百寿苑条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
	手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
あわら温泉湯のまち広場条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
放課後子どもクラブ事業の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
新市建設計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(本荘幼稚園)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(北湯幼稚園)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(伊井保育所)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(金津東保育所)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(細呂木保育所)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(雲雀ヶ丘寮)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
公の施設(老人福祉センター市姫荘)の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員(佐々木基之 氏)の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
芦原温泉上水道財産区管理委員(6人)の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員(藤井さち江 氏)の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員(宮崎絹子 氏)の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成25年度一般会計補正予算(第5号)	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市議会	手話言語法制定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○…賛成 X…反対 -…欠席等
※議長(笹原幸信)は採決に加わらないので「/」で表示

討論 平成26年度一般会計予算



○「新幹線は必要ない」との意見がある中、足湯建設など、新幹線関連のまちなみ整備に、25~27年度で10億円(芦原地区8.5億円、金津地区1.5億円)を予定しているが、誘客効果は疑問であり、国保税引き下げなど、福祉の充実を優先すべきである。
○吉崎の「歴史情報発信館」は、内容が決まらないのに建物を建設する、と言うのは全く理解できない。白紙に戻すべき。
○「義務教育は無償」と言う憲法の規定を尊重し、スクールバスは無料にすべき。



○指定管理者公募の条件である、旧セントピア財団から引き継いだ職員5名の救済措置が何一つ実行されないまま、予算執行されることに、はなはだ懸念を抱くものである。
○北陸新幹線金沢駅開業を1年後に控え、特定財源を基に、財政調整基金5.7億円を取り崩して事業行うのであれば、もっと生活している市民のために自主財源を使うべき。

討論 教育委員の報酬改定



○教育委員の報酬が高いとは思わないが、他市との比較で決めるものではない。教育委員会は、あわら市の教育行政について独立した権限と責任を持っており、その役割を果たしているかどうか問われている。事務局のトップである教育長の報告を追認しているだけの教育委員会ならば、無用である。報酬引き上げについては、今後の状況を見たくうえで検討すべきである。

○教育委員という、大変立場の重い職であるにもかかわらず、合併時に議論されずそのまま据え置きになった経緯がある。仕事をしながら、貴重な時間を費やして出務している。基本に戻り、教育委員としての自覚を持ち、教育行政全般のチェックを行い、教育委員会事務局の資質向上のためにも、責任を持ち職責を果たすよう、報酬をアップすべきである。



討論 平成25年度一般会計補正予算(芦原児童公園の整備)



○今度完成する「足湯」など、温泉街を散策するため、あわら湯のまち駅南側の駐車場は、利用価値が高い。跨線橋の階段を登るとい、不便さを考えると、これ以上中心地から遠ざける事に理解ができない。
○行政主導で、何ら住民の理解を得られないで、フットサルコートを整備するという案には賛成できない。公園整備は、防災施設としての一面もあり、住民とより深い関係を考えながら進めていく必要がある。

○フットサルは、近年競技人口が増加しており、大会も多く開催される人気競技である。学生合宿など、誘客にも寄与する。大会基準に適合した正式な人工芝コートを整備することにより、更に多くの人々が利用すると思う。よって、フットサルコート2面を有する芦原児童公園の整備は賛成である。



議会報告会を12会場で開催します。

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。
いずれの会場でもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

日時	4月23日(水) 19:30~21:00	4月24日(木) 19:30~21:00	4月25日(金) 19:30~21:00
会	伝統芸能館(湯のまち広場内)	波松区民館	次郎丸ふれあい会館
	中番コミュニティーセンター	劔岳公民館	金津本陣IKOSSA(3階)
場	河間区民館	ふるまち ふれあい会館	伊井公民館
	北潟公民館	細呂木公民館	浜坂区民館

ふるさと探訪

「嫁威し肉付きの面」

あわら市には蓮如上人にまつわる伝説がたくさんあります。その中でも有名な話が「嫁威し肉付きの面」です。内容はみなさんご存知でしょうから省略しますが、あわら市山十楽地区の「浄林寺」(現在廃寺)には次のような話があります。

細呂木村誌の中に「山十楽の浄林寺は、蓮如上人の旧跡で、嫁威し伝説の後日物語があります。あの与三次一家は浄林寺の檀家で、屋敷も寺の近くにあったし、墓も残っている。寺宝には面代りの本尊(蓮如の持仏で嫁がもらったもの)と、二分けの御名号(婆が蓮如からもらった真筆)がある。」と書かれています。

地元で調べたところ、墓は存在していないようで、蓮如上人よりいただいた宝物は應観寺(坂井市春江町井向)に安置保存されていました。伝説「嫁威し肉付きの面」は蓮如上人の功德を語る話で説教話として語られたものが、仏教の伝播とともに広まったのではないのでしょうか。



(毛利) 應観寺にある本尊(前)と名号(後)

編集後記

卒業式に出席させていただきました。
「白い光の中に……はるかな空の
果てまでも君は飛び立つ」この式歌
を歌いだすと私の胸はいっぱいにな
り涙があふれてきます。

答辞では、文化祭や体育祭での
経験が色濃く語られます。先生、
友人、後輩との心の交流、つながり、
いさかい、助け合い、そして励まし合
いながら成長していく姿が生き生
きと語られ、聞く人の胸に響き、会
場からすすり泣きももれてきます。
私はこの瞬間に、とても感動をおぼ
えます。

ゲーム、メールなどがいかに発達
したとしても、間違いないことには、
心の通い合いが存在します。
そして、子ども達の未来が幸せで
ありますようにと祈らずにはいら
れなくなるのです。

(卯目)

編集・発行責任者

議長 長 笹 原 幸 信

市議会広報編集特別委員会

委員長 山 田 正 武

副委員長 山 川 知 郎

委員 山 本 正 一

委員 平 野 時 篤

委員 毛 利 純 夫

委員 山 田 利 重

委員 卯 目 喜 美

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお寄せください。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp

